

## 32. 明治官吏の服制概要

昭和女子大 村井不二子

我国の官吏服制は、おおむね明治期に於て創定されたもので、維新後、政治体制の整備に伴い順次、太政官達、勅令等によって制定された。これらの制服は、それぞれの職務、階級などによって特色ある形態を示し、当時の中央集権的官僚主義を發揮した。初期にあっては、諸制度が欧米の先進国を原型として仰いだ如く、制服もそれらを模倣したものが多かった。例えば、陸軍軍服がフランス、海軍がイギリス風、林務官服がドイツの森林官に似たものであったなどである。やがて官僚機構が、大陸進出の帝国主義化するに伴って軍国調一色に塗りつぶされ、従って服制も、税関などの一部を除いて独得の軍国調に変わっていった。これら明治期における官吏服制の発生とその変遷をさぐり、その特質、給与体制、国家機構との関連その他について考察し、概要をまとめた。